

農大だより18号

発行：平成 27 年
9 月 18 日
栃木県農業大学校
〒321-3233
宇都宮市上籠谷町
1145-1
TEL：028-667-0711

「ワクワクドキドキする

農業大学校」を目指して

栃木県農業大学校長

安納義雄



この4月に校長となりました安納です。よろしくお願いいたします。今年度の農大をいくつか紹介します。

4月8日春爛漫の良き日に開催される予定だった入学式は、桜と雪が一緒に見られる風景で外気温2度。入学生、保護者、来賓の皆様には、寒い中本当にご協力ありがとうございました。その後のイベントでは、天気比較的恵まれていますので、今後はいろいろな面で右肩上がりに展開し、思い出深い入学式となることを期待します。

5月7日、花き専攻の2年生9名が県庁に行き、カーネーションの花束を、知事・知事夫人に贈呈



しました。知事から各学生への間に、はきはきと答え、マスコミ

の取材に対してもしつかりと対応できました。学生たちは緊張感と達成感を感じたはずですよ。

4月12日には県ホルスタイン共進会が開催され、学生は張り切って出品したのですが、惨敗。でも、5月27日に畜産酪農研究センターから高能力牛2頭が導入され、学生は胸をときめかせています。今年自主的に作ったホルスタイン共進会愛好会の今後の活動が楽しみです。



このほかにも、5月29日茨城県で開催された農業大学校東関東ス

ポーツ大会では、7種目中3種目優勝、2種目準優勝、昨年度の4種目優勝同様今年も学生たちはがんばりました。チームワークやリーダーシップなど本校学生の光るものが随所で見られました。

また、今年、本校卒業生が初めて宇都宮大学への編入学を果たしました。進学希望者には、本人の努力が実を結ぶよう支援します。

一方、とちぎ農業未来塾には107名、とちぎ農業ビジネススクールには18名を迎え研修がスタートしました。学生、研修生にとって学習や就農に向けた意欲が向上するよう、先進地調査等の校外学習や新品種・新技術の導入も積極的に取り組んでいきます。

さらに、農大では、「学校法人三友学園との連携協定や、農機メーカー連携協定による実習内容の充実など」アイデアあふれる取組も行っております。

今年、農大は創立110年。多くの学生・研修生が「ワクワクドキドキ」を感じ、成長できるよう職員一丸となって展開していきまので、後援会、同窓会、及び関係機関の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

キャンパスライフ

(27年4月～7月)

学生自治総会

4月17日、講堂兼体育館で開催され、平成26年度の事業・決算が承認されるとともに、今年度の農大祭などの事業計画・予算案が可決されました。

渡辺修平会長から「学生生活の思い出になるよう、楽しく有意義で充実した活動ができるよう頑張りたい。」とあいさつがありました。今後の活動が期待されます。



「第28回農業大学校 東関東スポーツ大会」 (茨城県立農業大学校開催)

5月29日、第28回農業大学校東関東スポーツ大会が茨城県で開催されました。会場は、坂東市にある八坂公園等、4会場にて7種目の試合が行われました。

参加校は本校のほか、茨城県立農業大学校、千葉県立農業大学校、鯉淵学園農業栄養専門学校、4校で競われました。1年生にとっては初の対外試合になりましたが、2ヶ月間のサークル活動での練習成果を発揮する機会になりました。

当日は雨まじりで、テニスの試合が途中で中止になるあいにくの天気でしたが、各会場では熱戦が繰り広げられ、学生たちが真剣に試合に挑む姿が印象的でした。怪我や体調を崩した学生もなく7種目中3種目で優勝する良い成績を収めました。



【本校の成績】

バスケットボール	優勝
卓球	優勝
個人男子	優勝
(農業経営学科2年 遠藤 邦晃)	3位
(園芸経営学科野菜専攻2年 高田 裕規)	優勝
サッカー	優勝
軟式野球	準優勝
バドミントン	準優勝
バレーボール	第4位
テニス	第4位
団体	第4位



先輩からのアドバイス 「就農促進 シンポジウム」開催

本科2年生への就農意欲向上及び4日活動など地域活動への積極的な参加を目的として6月17日に行われました。

今年は就農又は雇用就農した卒業生を講師に招き、全体会や分科会の中で経営内容や就農の動機、学生時代の経験談を説明していただいたほか、在校生との意見交換では、就農に向けたアドバイス等をいただきました。

先輩方との意見交換を交えたお話しは、今後就農を希望している学生のみならず、就職を希望する学生に対しても良い刺激になったかと思えます。将来先輩方のように、地域で活躍できるよう期待しています。

講師としてお迎えした卒業生は次の方々です。

- （氏名、出身地、卒業年度、学科）
- ・コース、経営内容）
- ・荻原怜花さん、那須塩原市、平成21年、作物、水稻＋露地野菜
- ・早乙女克也さん、鹿沼市、平成19年、園芸・野菜、いちご

- ・宇土平和幸さん、下野市、平成17年、園芸・花き、コチヨウラ
- ・角田剛雄さん、大田原市、平成14年、園芸・果樹、梨
- ・永嶋ゆう子さん、市貝町、平成21年、畜産、酪農



左から宇戸平さん、角田さん、永嶋さん、早乙女さん、荻原さん

寮生会

「消防訓練を実施」

6月2日、学生寮の消防訓練を実施しました。寮生83名及び安納校長他担当教諭が出席しました。寮生会生活・学習部が中心となり、避難通報、避難、消火訓練を

行いました。消火訓練では、宇都宮市東消防署清原分署の職員の指導により水消火器で実演しました。最後に消防職員から講評をいただき訓練は終了しました。



授業実習風景

○農業経営学科

当学科には、2年生20名、1年生16名、合わせて36名の学生が在籍しています。学生たちは水稻、麦、大豆等を中心とした土地利用型作物やねぎ、かぼちゃ等の露地野菜について、栽培から経営までの知識・技術を学習しています。



1年生では各種作物の栽培方法の基本について、ローテーションにより幅広く学習するとともに、農機具の安全かつ効率的な利用方法を学んでいます。また、2年生になると作物（水稻・麦等）、露地野菜からひとつを選択し、自分の研究テーマに基づいた試験を設定して調査研究を行い卒業論文を作成します。

今年は、水稻の鉄コーティング直播栽培や肥料の比較試験、露地野菜の品種比較や地方野菜の栽培方法等、各学生がそれぞれ工夫した興味ある課題に取り組んでいます。

○園芸経営学科野菜専攻

今年度は1年生15名を迎え、2年生25名と合わせて40名の学生が、いちご・トマトを中心に施設野菜の栽培技術や経営管理について学んでいます。

1年生は、寮生活や講義、専攻実習など新たに始まった農大ライフにも慣れ、元気に過ごしています。

2年生は、1年次から実施してきた課題研究の調査も終了し、これから卒業論文作成に向けて取りまとめが始まります。



○園芸経営学科花き専攻

2年生10名に1年生9名が加わり、合計19名の学生がキク、カー

ネーション、トルコギキョウ、ユリ等の切り花やシクラメン、シャコバサテン等の鉢花栽培に取り組んでいます。花は品目が多く学ぶことがたくさんありますが、学生は全力で取り組んでいます。



○園芸経営学科果樹専攻

2年生3名に加え、新たに1年生4名が入学しました。

今年はこの7名がナシ、リンゴ、ブドウ等の栽培や経営管理について学習します。1年生は各種果樹の基本的な性質や栽培を講義と実習により習得します。

2年生は課題研究の取組を通して、さらに栽培の特徴をつかんでいきます。ナシ、リンゴ、ブドウ各1名ずつ専攻しています。



○畜産経営学科

新たに1年生10名が入学し、2年生7名とともに乳牛や肉牛の飼養管理や経営について学んでいます。

1年生は、2年生と一緒に当番制で朝早くから搾乳や給餌の作業、県畜産酪農研究センターから導入した育成牛の共進会出品に向けた管理などを元氣に行っています。

2年生は各自の卒業論文に沿った実習を行い、授業では、6月から家畜人工授精師養成講習会が始まり、免許の取得に向けて頑張っています。



【食品加工】

全学科共通で食品加工実習を行っています。農大産農産物を用い、「いちごジャム」「いももち」等の加工品について学びます。



「オーブンキャンパス」開催

6月3日(水)に、第1回オーブンキャンパスを開催し、県内農業関連高校7校の生徒76名が、本校を1日体験しました。

生徒たちは、学校の概要説明やほ場・実習施設などの見学、学生食堂での昼食、各出身高校の先輩たちとの交流交歓、希望学科の専攻実習見学など、学生生活を体験しました。

7月26日(日)には、農業大学校入学に関心のある方とその保護者等を対象にした第2回オーブンキャンパスを開催し、127名の皆様に参加いただきました。



これからの主な行事 (平成27年9月～平成28年3月)

- 先進的経営体実習 (本科1年生)
- 8月26日(水)
- 9月29日(火)
- 意見発表会
- 10月16日(金)
- 秋季校内スポーツ大会・収穫祭
- 10月29日(木)
- 第39回農大祭
- 11月21日(土)
- 12月22日(日)
- 防災訓練
- 12月4日(金)
- 本科卒業論文発表会
- 1月29日(金)
- 卒業式
- 3月11日(金)



農大で夢の舞台へ駆け上げろ！

本県農業の次代を担う資質の高い農業経営者を、実践的教育により育成するため、学生を募集します。

平成28年度生 学生募集について

出願期間

- ・ 推薦入学試験
- 9月11日(金)
- 9月25日(金)
- ・ 一般入学試験 (前期)
- 11月24日(火)
- 12月4日(金)
- ・ 一般入学試験 (後期)
- 2月4日(木)
- 2月12日(金)

試験期日

- ・ 推薦入学試験
- 11月6日(金)
- ・ 一般入学試験 (前期)
- 1月8日(金)
- ・ 一般入学試験 (後期)
- 2月25日(木)

合格発表

- ・ 推薦
- 11月20日(金)
- ・ 一般(前期)
- 1月28日(木)
- ・ 一般(後期)
- 3月1日(火)

就農準備校

「とちぎ農業未来塾」

栃木県内で農業を始めたいと考えている方が円滑に就農できるよう、基礎的な農業経営に関する知識や作物の栽培技術などを学べる研修を実施しています。

① 定年帰農希望者研修

平日の受講が困難な受講生を対象に土曜日に開校しています。農業経営の基本的内容を中心とした講義、実習を行い、研修期間は4月から1月で、本年は4月11日に開校し、研修生は32名です。

② 新規就農希望者研修

農業経営の基本的内容を中心とした講義、実習を行う「基礎コース」と、各作物の農業経営・栽培技術の専門的内容の講義、実習を行う「専門コース」があります。

○ 基礎コース

毎週木曜日に開校しています。研修期間は4月から3月で、本年の研修生は35名です。20歳から60歳代まで幅広い年代の研修生が受講しています。

研修科の紹介



○専門コース

いちご、施設野菜、露地野菜及び果樹の各専攻に分かれ、研修期間は4月から3月の毎週月、水、金曜日に開校しています。本年の受講生はいちご専攻11名、施設野菜専攻8名、露地野菜専攻13名、果樹専攻7名です。



とちぎ農業ビジネススクール

経営の高度化を目指す農業者を対象に、経営者としての資質向上に向けた「経営スキルセミナー」や「経営者マインドセミナー」、経営者の個別課題を整理・分析する「経営改革プランニング」の研修を行います。7月7日に開校し、3月までの9か月間で18回の研修を行います。本年は18名の研修生が受講しています。



農業機械研修

農業者及び就農予定者を対象とし、農業機械利用の専門的知識技能について研修します。

この研修には、農業機械士養成研修と農業機械安全効率利用研修があり、養成研修では新型トラクターも使って安全運転操作実習を行っています。



三友学園や農機メーカーとの連携

三友学園との連携

昨年11月13日に締結した「学校法人三友学園」との連携協定に基

づき、三友学園生の農業体験の受入を5月15日から6月5日まで延べ6回行いました。

今年度は、三友学園において本校学生の調理体験等を行うほか、講義への講師の相互派遣や学校祭・学園祭への参加などを予定しています。



農機メーカーとの連携

昨年度から農機メーカー等と連携し、最新高性能機械の操作を学ぶ実習を開始し、今年8月21日（金）9時から学生・未来塾研修生等を対象に「排水対策機械操作実習会」を開催しました。ハーフソイラ等の操作実習を通じ、土づくり・排水対策の理解を深めました。

同窓会コーナー

「農の心発信地」

希望の光り

「明日をつくる」

とちぎの絆

栃木県農業大学校

同窓会長 鈴木源男(源泉)



近年、農業・農村を取り巻く環境は、大きな変化を見せております。

21世紀の農業を担う教育を行っている農業大学の使命は一段と高まってきました。輝く農業を持続発展していくには、農業経営者としての経営力、実践力を身につけると同時に、指導者としての役割が必要であります。つまり個性や活力を生み出す知識・技術を修得して一人ひとりが目標を持って学習することが大切です。新たな仕組みもあります。

これを支援するのも同窓会として重要な役目の一つであろうと思っています。未来を担う人材育成に大きな期待を背負っている栃木県農業大学校。スピード感も必要となつてまいりました。そのためにも同窓会の更なる充実強化が重要で、各支部の活動強化、体制づくりが

求められています。つまり地域の絆そのものです。

毎年盛大に開催されている栃農大祭は、広く県民の皆様から注目されています。同窓会コーナーも多くの方々から関心を寄せられています。農業大学の足跡をたどりますと、長い歴史と伝統があります。

このたび創立110周年を迎え、同窓会名簿を発行いたしました。合わせて農大と協調して、諸行事を展開いたします。何卒よろしくご協力の程お願い申し上げます。若者達には、希望の持てる「強い農業」「美しく活力ある農村の創出」を目指すことを心から願ひたします。よろしくね。

青蒼とした農大の絆、「青雲之志」に対し、重ねてご協力をお願いいたします。会員の皆様、11月の農大祭には是非ともご来校いただき親交を深めていただければと思います。お越しをお待ちしております。夢あり、幸あり母校「栃木県農業大学校」を応援してください。

平成27年度同窓会事業計画

- ・入学式、卒業式への出席
- ・同窓会入会式への出席
- ・役員会開催

- ・全国及び関東ブロック同窓会長会議出席

- ・農大だより(同窓会コーナー)作成

- ・「農業大学校に関する要望書」を県へ提出

- ・農大祭(11月21、22日)への参加



活動方針

- ・結成支部の強化を図るとともに、未結成支部の早期結成を推進し、同窓会の強化を図る。
- ・農業大学校の実践教育・学生募集等に対する協力及び援助を行う。

- ・会の発展と円滑な運営を図るための役員会等を開催する。
- ・その他、同窓会の目標達成に必要な活動を行う。

*詳細は、農業大学校ホームページ

ジ(同窓会コーナー)をご覧ください。

同窓会入会式

3月12日、鈴木源男会長出席のもと、平成26年度同窓会入会式が挙行され、本年度は本科卒業生56名を新入会員に迎えました。

新入会員を代表して、園芸経営学科果樹専攻の松本高徳さんが、「やわらかな陽射しが日一日と暖かさを加えるこの頃、明日、3月13日、私たちは、この栃木県農業大学校を卒業いたします。



在学中は、先生方をはじめ、たくさんの方に支えられ、学校生活を送ってこられたと思います。

私たちは、本日、100年以上の歴史と伝統のある栃木県農業大学校同窓会に、入会することになります。

これからは、栃木県農業大学校

の卒業生として、そして、栃木県農業大学校同窓会会員として、誇りを持ち、活躍されている先輩方と肩を並べて歩んでいけるように邁進していきたいと思っています。

これからの社会生活の中で、先輩方とお会いする機会が数多くあると思います。若輩者の私たちですが、先輩方との出会いを通して様々なことを学び、活かしていく所存ですので、よろしくご指導お願いします。」と、挨拶しました。

宇都宮大学に編入して

平成26年度 本科

農業経営学科卒業

篠崎 聡帆

私は現在、宇都宮大学農学部農業経済学科に在籍しています。農業が時代によってどう変化してきたか、農産物が様々な過程を通して消費者のもとへ届く事等を学んでいます。また、ゼミで毎回提案されたテーマについて議論しています。他人の意見や考えを聞くことの出来る、貴重な時間です。

農業『経済』と聞くと、なかなか自分とは関わりが無いように思いますが、私達



は意識していないだけで、その経済活動に参加し生活しています。農業大学校での授業、特に実習では、その起点となる重要な内容を学んでいることになります。それはとても恵まれた環境であったと、大学に来てから実感しました。

編入学を考えている人もそうではない人も、この事を意識しながら学校生活を送ってほしいです。普段当たり前に接しているものの重要性や背景を考えることは、様々なことに役立ちます。皆さんが充実した毎日を送ることを祈っています。

初めての作業

平成26年度 本科

園芸経営学科野菜専攻卒業

石崎 史也

今年4月から、畜産経営学科の臨時補助員をしています。

学生の時は、トマトの栽培を学

びましたが、勤務してからは、初めて牛の世話をし、聞いたことも無い言葉も多く、わからないことばかりでした。

しかし、作業をしていくにつれて慣れてきましたので、今は不安なことはありません。



将来は、農業関係の仕事につきたいと考えています。1年間よろしくお願いします。

鈴木源男同窓会会長が
農業大学校同窓会全国連
盟会長に就任

去る7月15日に、東京都渋谷区の国際オリンピック記念青少年総

合センターで開催された平成27年度農業大学校同窓会全国連盟通常総会において、本校同窓会会長の鈴木源男氏が、農業大学校同窓会全国連盟の会長に就任されました。この団体は、全国の各農業大学校同窓会で組織された団体であり、鈴木会長におかれましては、今後一層の御活躍が期待されます。

同窓会員名簿を
発行しました

平成27年6月に、創立110周年記念の同窓会名簿が発刊されました。



※題字は、鈴木源男（源泉）会長（高藝文會代表・下野書道会理事長）に、揮毫いただきました。